

4 学校概要

■ 特色



生徒急増による東浦中学校の大規模化を解消するために昭和51年(1976年)に東浦町北端の丘陵に建設された。「一斉授業に対応するとともに、将来予想される学習形態の変化に容易に対応できるシステム」のために設計された特色ある校舎をもつ。ゆったりとした4箇所のオープンスペース(ラーニングセンター)は、個別

学習や学年集会等に活用され、普通教室ブロックの床は、騒音を減らすため絨毯敷きである。

「自己の将来を切り拓く自立した生徒の育成」を目指して、従来の日本型学校教育のよさを継承しつつ、一人ひとりの子どもの個性に着目し、個別化・個性化教育に力を入れている。教師が黒板の前に立ち、学級にいる子どもたち全体に向けて知識を伝達する従来の一斉授業に加えて、「マイプラン学習」と呼ぶ单元内自由進度学習、もしくは单元内に自由進度で学習する場面を設けた学習活動を展開している。

令和7年(2025年)、開校50周年を迎えた。校内で記念式典を行うだけでなく、生徒実行委員会の意見を踏まえながら、同窓会代表・PTA代表・学校運営協議会代表・地域代表・学校職員代表・生徒代表で組織する「北部中学校創立50周年事業実行委員会」の活動として、「生徒の願いを可能な限り実現する地域に開かれた周年事業」を展開した。中心行事として、地域に開かれた祭り(生徒自由参加)の「ほくほく祭」を10月に開催したところ、2000名を超える参加者が集まるイベントとなり、成功を収めた。

学区の小学校(2校)と連携してトライアングル事業を行っている。「あいさつ運動」「中学生の話聞く会」など共同行事は定着してきた。教員が学校を相互訪問し、学習活動や児童生徒の様子を見学する機会も設けている。

また、トライアングル3校には、令和4年(2022年)にそれぞれ学校運営協議会が設置された。地域を愛し、同時に地域の一員としての自覚をもった生徒を育てるために、地域との連携を大切にしている。これまでも、生徒は、地域に出かけゴミを拾う活動や地域の老人に花をプレゼントする活動などを行うとともに、地域コミュニティ祭や地域行事などのスタッフボランティアの募集に積極的に協力・参加してきたが、学校運営協議会の設置を契機に、さらなる活性化を目指している。「クリーン作戦」については、令和6年(2024年)より3校のコミュニティスクール共催の形での実施となった。今年度は、学校運営協議会ならびに地域学校協働活動推進員との連携を創立50周年記念事業のレガシーを生かしながら、取組を展開していく。

学校祭には地域から多くの講師の方をお迎えし、文化講座を行っている。この講座を運営するのはPTAで、地域・保護者と連携した取組となっている。

日高輝夫・東浦町長をはじめ多くの卒業生が地域で活躍しており、これからも、学校と地域がしっかりと協力し合える存在となること、持続発展可能な地域社会を担う人材を育成することを目指していく。

■ 校訓・めざす人間像

剛健	心や体を鍛え、たくましく生きる生徒
志学	深く考え、自ら進んで学習する生徒
誠実	礼節と思いやりの心をもって行動する生徒

■ 生徒数・学級数 (R8. 4. 1 現在)

	1 年	2 年	3 年	特別支援	合 計
生徒数	1 1 9	1 8 4	1 6 0	(1 4)	4 6 3
学級数	5	5	4	3	1 7

■ 校地・校舎

校 地 41,263 m²

床面積 11,083 m² (校舎 : 8,220 m², 体育館 : 2,863 m²)

運動場 22,178 m²

■ 所在地

〒470-2102 愛知県知多郡東浦町大字緒川字寿二区80番地

■ 校長

赤根 進治 (R8. 04. 01～)